



第82回定期戦 開会式挨拶要旨

平成31年4月29日(月)

おはようございます。

会場校の校長として、ご挨拶申し上げます。

水海道第一高等学校の皆さん、ようこそお出で下さいました。皆さんを下妻一高にお迎えし、伝統の第82回定期戦が、盛大に開催できることは、誠に晴れがましく、喜びに堪えません。

また、朝早くから応援に駆けつけていただきました、両校保護者の皆様、為桜・済美両同窓生の皆様、並びに、この定期戦を温かくご支援いただいております、地域の皆様に、深く感謝申し上げます。

この大会は、戦後の混乱期中、目標を見失い、精神的に荒廃していた両校生徒に、兄弟校同士のスポーツの交流を通して、夢と希望を抱かせようと、両校の先生方の熱い想いの下、昭和22年に、第1回「定期戦」が開催されて以来、72年間、82回にわたり、一度の中止もなく、「為桜・済美」という伝統の精神を継承しながら、脈々と受け継がれてきました。



選手諸君が、母校と自らの名誉のために競技する姿は、応援する両校生徒はもちろんのこと、観戦していただく多くの方々に、熱い感動を与え、この時間を共有する全ての人たちの思い出となってきました。

これから始まる競技においては、練習の成果を十分に発揮し、高校生らしい態度で、最後まで全力を尽くすとともに、今日の定期戦を通して、兄弟校の絆をいっそう深め合い、「学業」に「部活動」に切磋琢磨し、互いに成長するという定期戦が持つ所期の目的を達成することを願います。

今年は、「茨城国体」、来年は「東京オリンピック」が開催されます。スポーツの素晴らしさを間近に観て刺激を受ける機会に恵まれています。また、今回が平成最後の大会となることで、長く記憶に残る大会となることを祈念します。

結びとして、本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた全ての関係者の皆様、並びに生徒諸君に、心から感謝申し上げます。選手諸君の健闘を祈ります。

